

## 高P連会長インタビュー 米山新会長に語っていただきました

### — 米山会長のPTA経歴を教えてください。

中学校からです。きっかけは小学校の6年間、おやじの会で活動していたことによる「顔ばれ」です。会長2年目の体育祭のPTA参加競技で転倒・骨折し、救急搬送されてポルト固定手術を受けたので、「筋金入り会長」とイジられました。高校も家から近くの多摩高校だったことから、ほどなく「顔ばれ」して本部役員となり、会長まで務めました。健全育成活動のご縁で高P連から声がかかり、昨年度は総務・健全育成委員長として活動しました。

子どもが娘一人なので、PTAは常に「今しかできないこと」と考えて参加してきました。それでも高P連会長職は即断即決とはいきませんが、多くの方に背中を押していただきお受けしました。

### — 最近の高校生を取り巻く状況についてどうお考えですか。

現在、高校生や保護者の周りには発信元が定かでないものも含めてさまざまな情報があふれており、誤った情報に振り回されたり悪意のある情報に傷つけられたりするといったリスクが身近に存在しています。そのため、まずは自身で情報の発信元や内容を納得するまで確認することが肝要と考えますが、それが難しい場合に備え、日頃から信頼できる情報源や相談できる人を持つことが大切です。

高P連では、高校生を取り巻くタイムリーかつ有意義なテーマを、定

評のある講師や確かな情報源に基づいてお届けできるよう県大会等での講演や健全育成に関する各種テーマを取り扱う講演会などを企画・運営していますので、ご関心やご都合に合わせて参加いただければ幸いです。

### — コロナ禍における高P連活動、各校PTA活動についてのお考えをお聞かせください。

基本的にチームで行動し、生徒や保護者が集まるイベントや会議などで活動する機会が多いPTAは、コロナ禍で物理的にも精神的にも大きな打撃を受けました。このように従前のPTAの活動形態は難しい局面を迎えましたが、生徒の健全育成支援や保護者の生涯学習といった活動目的はコロナ禍でもまったく変わることはありません。このことをPTA関係者で確認し共通の認識とすることができれば、形態は変わってもやりがいをもって活動を前に進めることができるのではないのでしょうか。

高P連では、各校PTAにおける活動の参考としていただくために、県大会のオンライン配信や、ホームページを通じた活動情報のお知らせをしていますので、ぜひ有効にご活用ください。

### — 会長からみてPTAとは何ですか。

「究極の生涯学習機会、であり「究極のコミュニティ、であると考えています。子どもが通う学校を知るこ



令和2年度会長 米山 賢

とができ、自身も保護者として学べるという他では得られない生涯学習の機会だと考えます。加えて、他者を理解・尊重し他者とコミュニケーションをとれる力がますます重要になるといわれる中、考え方も価値観も多様な保護者が生徒の健全育成という共通の目的の下で学び、行動する、唯一無二のコミュニティだと思います。

高P連では、このような各校PTAにおける生涯学習の機会とコミュニティを、情報の共有や提供、さらなる学習機会の確保などによってサポートする活動を行っています。

### — 会員の皆さまへ一言お願いします。

日頃より高P連の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。先行き不透明なこの時代、お子さんの学校生活や保護者として何をすべきかなど、不安や心配は尽きないことと思います。

高P連としては、会員の皆さまと連携・協力することにより学び、行動し、生徒の健全育成を支えながらともに成長していきたいと考えていますので、引き続きご協力をお願いいたします。

高P連ホームページのURLが変わりました

新HPのURL：<https://kanagawa-koupren.jp/>

詳細は3面に掲載

こちらのQRコードを読み取ってアクセス ➡



# 令和2年度定期総会は書面総会で開催

令和2年度定期総会は、当初令和2年6月20日にパシフィコ横浜会議センターにて開催される予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、書面総会で実施された。

準備にあたっては、理事会、役員会の開催が叶わず困難を極めたが、SNS等を利用した連絡・報告・協議等を重ね書面総会の実施にこぎつけた。

令和元年度の活動報告、決算報告では、令和元年台風19号による2地区大会の開催中止や、3年目を迎えた健全育成分科会の活動、平成30年度より募集が始まった「生徒総合補償制度」による収入増などが報告された。令和2年度の役員は退任の中野会長から、前年度総務の米山会長にバトンタッチされるなど、計3名が退任、前年度地区理事等から3名の新役員を選任した。

令和2年度の事業計画は、スローガン「学び、行動するPTA」として昨年度に引き続き、健全育成、生涯学習等に力を入れたものが提出されたが、コロナ禍における活動の見直し等を今

後検討していくこととしている。第2号議案の報告事項も含め、書面総会での表決はすべての議案が承認され、令和2年度の活動がスタートした。

## 令和2年度 定期総会(書面開催) 成立要件と主な承認事項

【構成員と表決票提出数】	【決議事項】
各校PTA会長 144名	* 令和元年度事業報告・決算報告・監査事項
各校校長 135名	* 個人情報保護に関する細則、賛助会員規定について報告
役員・理事 22名	* 令和2年度 役員選任
構成員合計 301名	* 令和2年度 活動方針・スローガン・ミッション(案)
表決票提出数 207名	* 令和2年度 事業計画・予算(案)

	項目	収入	支出	差額(繰越金)
令和元年度 決算	一般会計	28,006,055	22,721,232	5,284,823
	研修事業会計	9,779,566	7,651,178	2,128,388
令和2年度 予算	一般会計	30,330,823	30,330,823	0
	研修事業会計	9,328,388	9,328,388	0

## 「学び、行動するPTA」 団体表彰：9校

神奈川総合高校パートナーズ ボランティアファミリー 「ベンチな人達」  
 金井高校PTA 川崎高校PTA 藤沢工科高校PTA 鶴嶺高校PTA  
 大船高校PTA 西湘高校PTA 足柄高校PTA  
 弥栄高校(現 相模原弥栄高校)PTA

## 令和2年度 賛助会員：2団体

全力丸株式会社 東京海上日動火災保険株式会社

# 令和2年度神奈川県立高等学校PTA連合会 役員・理事紹介

3列目左から：吉川理事(横浜南)、内田理事(横浜北)、田川監事、黄理事(湘鎌)、西田理事(川崎)、笹理事(県央)、馬場会計、小林理事(横三)、橋本理事(横浜中)、葛山監事 2列目左から：安田会計、田中総務、角田理事(平秦)、琴野理事(相模原)  
 1列目左から：山内理事(県西)、廣間総務、鈴木副会長、佐々木副会長、米山会長、石倉副会長、片岡副会長、栗原総務



### 石倉副会長 担当地区) 湘鎌、横浜南

**主な役割)** 総務・会計および理事会・役員会の司会

湘南台高校の会長として一昨年度湘鎌地区の理事となり、「PTAは大人の部活動です」をスローガンに地区内全15校の本部役員有志26人で湘鎌合唱部を結成し、深沢高校の合唱祭で一緒に「ハナミズキ」を歌ったことが、最も楽しかった思い出です。

### 鈴木副会長 担当地区) 平秦、県西、相模原

**主な役割)** 研修委員会

今年度初めて高P連役員として活動させていただいています。県大会ではPTA会員の皆さまが望んでいる情報を発信できるようにアンテナを張り、リサーチをかけ、皆さまの協力を得て無事開催することができました。コロナ禍でどの学校もご苦労されていることと思いますが、このような中でも活動できることを見つけ、留まることなく、できる時にできる分だけ、次の代へ繋げていけたらと思います。

### 佐々木副会長 担当地区) 横浜中、県央

**主な役割)** 調査広報委員会

横浜桜陽高校の会長を経て3年目の役員を務めさせていただいております。今年は各校会長の皆さまと交流ができず寂しい活動が続いていますが、こんな時だからこそ高P連として会員の皆さまに少しでも有益な情報をお届けしたいと思っています。

### 片岡副会長 担当地区) 横浜北、川崎、横三

**主な役割)** 健全育成委員会

今年度より副会長を務めさせていただいておりますが、コロナの影響で非常に動きづらい年となりました。そんな状況の中、リモートの活用等で新しい生活様式を模索しながら新たな発見もあったと思います。この先の見えない状態を創意工夫する事により、難局を皆で乗り切っていけたらと思います。今後ともよろしくお祈りいたします。

# コロナ禍における高P連活動

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出や学校の休校、新しい生活様式は、対面でのコミュニケーションを前提としているPTAにとって大きな影響を及ぼしている。各校のPTAは年度当初の委員選出、総会の開催方法、年間行事の見直し、また学校行事も保護者がシャットアウトされ広報活動も満足にできていない状況の学校があるなど、大変苦勞を強いられている。

県高P連も感染拡大防止の観点から、理事会、役員会の中止に始まり、昨年3月の健全育成分科会全体会の中止、総会の書面開催などの対応を行った。総会以降初の理事会となった7月5日は広めの会議室を確保し、



Zoom会議を併用した理事会の様子



役員会は高P連事務局での開催も



委員会も距離をとって実施

## 新型コロナウイルス感染拡大の影響により変更となった主な活動

- ・定期総会（6月20日開催予定）⇒ 書面開催に変更
- ・研修大会（7月11日開催予定）⇒ 開催中止
- ・関東高P連群馬大会（7月3日～4日開催予定）⇒ 開催中止
- ・全国高P連島根大会（8月20日～21日開催予定）  
⇒開催中止（令和3年度に延期予定）
- ・第58回県高P連大会（12月5日開催予定）⇒ YouTube配信にて開催

距離をとった開催としたが、8月以降の理事会はZoomを使用したオンライン会議を併用して実施した。最初は、慣れない情報機器の操作、会場の通信環境や音響の問題でスムーズな会議運営ができなかったが、回を重ねていくごとにスムーズに運営できるようになっていった。

オンライン会議を併用することで、

議決の採り方や、意見収集等で様々な課題が発生したが、理事、役員との協力でひとつずつ解決していった。

今後もオンラインを併用した会の運営となっていくと思われるが、集合開催の時と変わらず活発な活動を展開できるように進化をしていきたい。

コロナ禍の中、活動を行った3人の役員から話を聞いた。

### 廣間総務（研修委員長）

12月5日の県大会では、たくさんの方にご視聴いただきありがとうございますございました。「やるか」「やらないか」の議論に始まった県大会でしたが、相談役の先生方と理事校の皆さまがオンラインで開催することに背中を押してくださったおかげで、県大会当日を迎えることができました。新しい試みにチャレンジできたことに感謝申し上げます。

### 田中総務（健全育成委員長）

オンライン講演会を企画・運営してみて、伝えるというより「伝わる」ことを意識して形にしていく難しさを痛感しました。オンライン上では一体感の醸成は難しいのでは、という不安をよそに、参加者の皆さまに興味深く視聴していただくことができ、これからのPTA活動の道筋が見えた等、たくさんの反響が得られたのが嬉しかったです。

### 栗原総務（調査広報委員長）

ホームページの更新はここ数年の懸案でしたが、コロナ禍でその重要性が改めて認識されリニューアルまでこぎつけることができました。見てもらうホームページだけでなく、SNSを利用した情報発信などにも力を入れていきたいと思っておりますのでどうかご期待ください。Follow us!!

## 高P連ホームページリニューアル

神奈川県立高等学校PTA連合会のホームページをリニューアルいたしました。新しいHPでは、会員の皆さまに県高P連についてより良く知っていただけるように、イベント情報や各部会の活動報告へ円滑に直感的にアクセスできるよ

う、サイト内検索機能を設けるなど、工夫を凝らしました。今後、このホームページおよびツイッター(@koupren)から会員の皆さまへ様々な情報を発信していきます。新しいホームページを是非ご覧ください。



PC用トップページ



スマホ用トップページ

# 第58回神奈川県立高等学校PTA連合会大会

初めてライブ配信で実施

県大会は例年1,000名規模の参加者があり、この状況下での開催が危ぶまれたが、早くから配信による開催に切り替えたことにより、予定通り令和2年12月5日に会場規模を大



配信のため専用の機材を用意

幅に縮小して開催した。

初のYouTubeライブ配信ということもあり、当日は不安もあったが学校での集合視聴も含め500名程度の視聴があった。また、通常開催では各校のPTA役員までとなる参加者について、今回、配信としたことで教職員の方も含め一般会員の参加があったことは、高P連の目指す方向性のひとつとして成果となった。

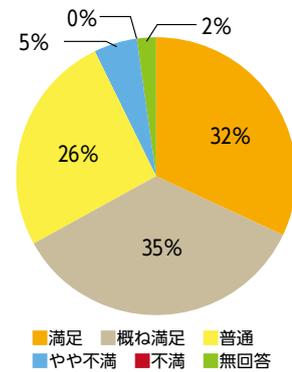
会は開会式、表彰式に続き安全振興会の作文コンクール最優秀賞の朗読、広報紙コンクールが行われた後、数学者で国立情報学研究所社会共有知研究センター長の新井紀子先生による講演が行われた。

会は開会式、表彰式に続き安全振興会の作文コンクール最優秀賞の朗読、広報紙コンクールが行われた後、数学者で国立情報学研究所社会共有知研究センター長の新井紀子先生による講演が行われた。



県大会初YouTubeライブ配信

県大会全体の感想



## 講演：「人工知能がもたらす人間と社会の未来」

講師：新井紀子氏(国立情報学研究所 社会共有知研究センター センター長・教授 一般社団法人教育のための科学研究所 所長・代表理事)

近い将来、仕事の多くがAIに代替されるかもと言われている今、人はどんな能力を持たなければならないのか。それは、自学自習の基盤となる汎用的読解力(教科書・辞書・新聞などの初学者向けの説明文を理解する上での基盤となる力、また科目の好き嫌いや既習知識の多寡に左右されずに、書かれていることを「まずはその通りに読む・処理する」力)であると話された。

新井氏が2011年からすすめてきた「ロボットは東大に入れるか」というAIのプロジェクトにより、東ロボくんと呼ばれるAIは、現在偏差値62。東大には入れなくても、MARCHには入れてしまうのだ。意味や文法を理解しているわけではなく、ポイントとなる単語を検索して

関連付けしているだけのAIに、なぜ意味が分かる学生が負けてしまうのか。もしかしたら、入試の問題が解けないのではなく、入試の問題文や教科書をそもそも正確に読めていないのではないのか？

そこで、問題の中にすでに答えが含まれているのに解くのが難しいRST(リーディングスキルテスト)を実施し、学生の基礎的読解力を判定した結果、中高生の多くが文章を正確に理解して読めていないことが分かった。

講演中にいくつか示されたRSTの中から1例をあげてみた。

以下の文を読みなさい。

幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。



講演は新井先生との中継で実施

上記の文があらわす内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。

当然、答えは「異なる」であるが、信じられないことに、中学生の正解率は57%という結果であった。

では、これができないと何が問題なのか？同義文判定ができないということは、自分で文章問題の答え合わせができない、合っているかどうかの判別ができないということになる。

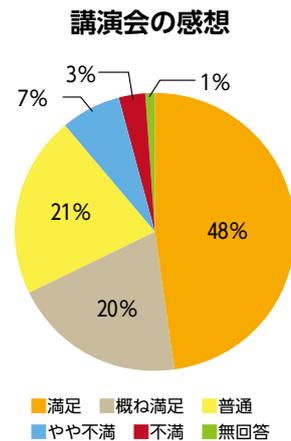
緊急事態宣言下の一斉休校で、自宅学習を余儀なくされた期間、学生の学習理解度の差が生じていたと感じる。課題と回答が配布されている場合、同義文判定ができない生徒がとる行動は、答え合わせをするときに、自分の回答が一字一句模範解答と同じでないと消しゴムで消し模範

解答にすり替えるか、もしくは、キーワードが合っていれば、とりあえず丸をつけるという2パターンと話されているのを聞いて、思い当たると感じたのは私だけではないだろう。

今後、3～5回転職を経験する未来がやってくる。転職の度に新しい技術を学んでいくことは、生涯学習であり、それには中高生の時期に自学自習を身につけておくことは重要である。そのために、読解力をどうやって上げればいいのか。

全ての生徒に無償で配布されている教科書を、中学を卒業するまでに

読めるようにすること。それが公教育の最重要課題であると強く語られていた。



## 第44回広報紙コンクール最優秀賞は、平塚中等教育学校が受賞

第44回広報紙コンクールは表彰式が県大会と同日に行われ、応募総数57校のうち、最優秀賞には平塚中等教育学校PTAが発行した「翠星」が選出された。令和2年3月に発行された同号には、英語教育に力を入れている同校らしく随所に英語が使われている。写真の効果的な使い方や読み手に合わせた記事の量など総合的に高く評価された。

同時に開催された第4回広報紙「表紙」コンクールには54校が応募、ホームページでの投票の結果、神奈川県総合高校パートナーズの「ざっくばらん」が優秀賞に選出された。

会場での表彰式はコロナの影響で優秀賞以上としたが、例年通り各賞の発表は当日としたため、発表の間は大いに盛り上がった。



表彰された皆さま

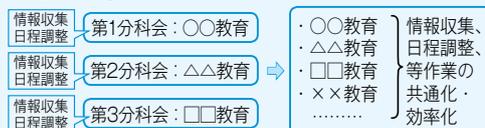
<b>最優秀賞 平塚中等教育学校</b> <p>随所に英語を使い、学校全体で英語に力を入れているイメージを遺憾なく伝える。</p>		<b>表紙コンクール優秀賞 神奈川県総合高校</b> <p>「新春期の子どもの向き合い方」は、親なら誰もが気になるテーマ。講師の話もバツと読める量に要約され、質疑やアンケート結果もコンパクトに収容されており、読みやすさにとっても程よい。</p>		
<b>優秀賞 神奈川県新聞社賞</b> <b>神奈川県総合高校</b> <p>「Backstage HEROes」は、審判員一同から絶賛された好企画。</p>	<b>優秀賞 県教育委員会教育長賞</b> <b>中央農業高校</b> <p>二度、三度と見るたびにその良さがジワジワ広がっていく感じ。豚や牛の程良い大きさの写真と似顔絵のコントラストもほのぼのとさせてくれる。</p>	<b>優秀賞 高P連校長賞</b> <b>希望ヶ丘高校</b> <p>教職員紹介は「座席表」付きの顔写真一覧になっており、保護者が職員室に行った時に便利そう。</p>	<b>優秀賞 安全振興会賞</b> <b>鶴嶺高校</b> <p>自転車の特集では、生徒へのアンケート結果をグラフィックやイラストを交えることで、見やすく紹介している点が非常にいい。</p>	
<b>奨励賞</b> <p>生田東高校 荏田高校 海老名高校 光陵高校</p>	<b>安全振興会写真賞</b> <p>相模原弥栄高校</p>	<b>写真賞</b> <p>元石川高校</p>	<b>企画賞</b> <p>小田原東高校</p>	<b>編集賞</b> <p>横須賀高校</p>

## 健全育成分科会がリニューアル

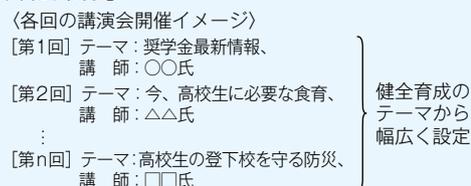
健全育成分科会は過去3年間に渡り各校から分科会員を募りテーマごとに活動してきたが、これまでの経緯を踏まえ、令和2年度は生涯学習としての価値を高め、より有用な情報を、より多くの会員に提供するため、活動内容を、識者や専門家等による講演を中心とした活動に集約することとした。

また、開催地の分散化も検討したが、コロナ影響により今年度はオンライン講演会として企画することとした。

### 分科会集約①



### 分科会集約②



### 大盛況! 第1回健全育成オンライン講演会

講演: 「新型コロナを通して誹謗中傷や差別について考える」

講師: 岩室紳也氏 (感染症専門医ヘルスプロモーション推進センター (オフィスいわむろ) 代表)

令和2年11月15日にZoomを利用したオンライン講演会として実施され、82名と大変多くの会員が参加した。

コロナでの誹謗中傷はどうして起き、それがどうコロナと関わっているか、正解依存症の怖さ、コロナの予防啓発には何が必要なのか、ソーシャル・キャピタル(絆(きずな+ほだし)がある場所)の効用などをユーモアのある視点を交えお話いただいた。

また、コロナ対策について、ウイルスが入る感染経路を医師の視点から詳細に分析し、日常生活での感染予防について、リスクの正

しい理解とエチケットの積み重ねであると解説した。

参加者からは、正しく怖がることの大切さや、正しい感染対策、人と人の繋がりを再認識したなど数多くの意見が寄せられた。初のオンライン講演会で参加者のZoom操作等多少の課題はあったが成功裏に終了した。



岩室紳也先生



5つのエチケット

第2回オンラインは、令和3年1月24日に神奈川県くらし安全防災局くらし安全消費生活課から講師を招き、成年年齢引き下げによる影響について講演を行った。詳細はホームページをご覧ください。

## 神奈川県立高等学校PTA連合会がおすすめする「ハイスクール24」(団体総合生活保険)

おすすめポイント1

40%割引適用

おすすめポイント2

24時間 365日  
ケガや賠償事故を補償

おすすめポイント3

個人賠償責任・国内無制限 (国外1億円)  
＜示談交渉サービス付き! (国内のみ)＞

神奈川県自転車条例にも対応!

**大切なお子様を24時間しっかりサポートする「ハイスクール24」。学校を通じて、生徒・保護者の皆さまに「ご案内チラシ」を配付予定です(2月中旬頃配付予定)。ご関心のある方は、是非パンフレットをご請求いただき、ご加入をご検討ください。**

■このご案内は商品の概要をご説明したものです。詳細はパンフレットを、ご加入にあたっては、重要事項説明書を必ずお読みください。ご不明な点がございましたらご案内チラシ・パンフレット等に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

<引受保険会社>

東京海上日動火災保険株式会社

横浜中央支店 金融公務課  
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-4  
みなとみらいビジネススクエア6階  
TEL : 045-224-3519

20 - TC08370 2021年1月作成

# 教育委員会の掲示板

## 「かながわ教育ビジョン」について

県教育委員会では、県の教育推進の総合的な指針として「かながわ教育ビジョン」を策定し、子どもたちが未来を拓き、創り、生きることができるよう、「心ふれあう しなやかな 人づくり」を進めています。そうした人づくりの推進に向け、県民一人ひとりが、かながわの教育について考え、行動するための機会として「かながわ教育月間」の設定や「かながわ人づくりコラボ」の開催等、様々な取組を行っています。今後とも、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

## 県立高校改革

県教育委員会では、すべての県立高校で、計画に基づく改革に取り組んでいます。令和2年4月には、再編・統合により4校の新しい学校がスタートしたところです。また、令和3年4月からは、神奈川総合高校に舞台芸術科を新設します。さらに、令和4年度には、横須賀工業高校の建設科新設や、海洋科学高校の学科を改編するなど、着実に取組を進めていきます。引き続き、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

神奈川 県立高校改革

## 寄附のお願い 「まなびや基金」「奨学金基金」

- ①まなびや基金は、県立学校の物品購入・改修工事、グラウンドの一部や中庭の芝生化など、教育環境の整備に活用しています。
  - ②奨学金基金は、学資を必要とする高校生等への奨学金の貸付けに活用しています。
- 皆様のご協力をお願いします。  
※詳しくは各ホームページをご覧ください。

【問合せ】  
県教育委員会財務課、教育施設課  
電話

- ①(まなびや基金全般について)  
(045)210-8105  
(芝生化について)  
(045)210-8123
- ②(045)210-8251

## インクルーシブ教育実践推進校について(インクルーシブ教育推進課)

県教育委員会では、県立高校改革の一環として、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を拡大するため、茅ヶ崎高校、厚木西高校、足柄高校をインクルーシブ教育実践推進校に指定し、取組を進めてきました。令和2年度から、県内すべての地域から通えるよう11校を指定し、計14校で、すべての生徒が、相互理解を深めながら成長し、共生社会の担い手となれるように取組を進めています。皆様の一層のご理解とご支援をお願いします。

## スマートフォン等の適切な使用について

高校生のインターネット利用が急速に拡大する中で、個人情報の流出や他人への誹謗中傷に係る書き込み、有害サイトへのアクセス等が原因で、犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが多発しています。トラブル防止のためにフィルタリングの設定や、スマートフォン等の使用に関するルールやマナーについて、ご家庭での話し合いをお願いします。

子どものケータイ 安全・安心な利用のために

## 一人で悩まないでご相談ください!

いじめや不登校など様々な悩みは県立総合教育センターの教育相談へ  
[24時間子どもSOSダイヤル]  
電話 0120-0-78310  
0466-81-8111  
24時間365日受付

## 「不登校ほっとライン(電話相談)」

電話 0466-81-0185  
月～金 8:30～21:00  
土・日・祝休日 8:30～17:15  
(12月29日～1月3日を除く)

## 「Eメールによる相談」

令和3年3月までのアドレス  
soudan@edu-ctr.pref.kanagawa.jp  
令和3年4月からの新アドレス  
kng-k-mailsodan@pen-kanagawa.ed.jp  
[来所による相談] (要予約)  
電話 0466-81-8521  
月～金8:30～17:15  
(祝休日、12月29日～1月3日を除く)

## 生涯学習情報を提供しています!

生涯学習情報システム「PLANET かながわ」では、講座・イベント、指導者・人材、団体・グループなど約20,000件の中から学びの機会を広げる情報を検索できます。また、県立図書館の生涯学習情報コーナーでも、人生を豊かにする「生涯学習」を進めるための資料を多数取り揃えています。学習相談員による相談もできますので、併せてご利用ください。

【問合せ】  
県立図書館 広報・生涯学習推進課  
電話(045)263-5916

PLANET かながわ

## 「PTA活動のためのハンドブック」 をご活用ください

県教育委員会では、PTAに対する理解をより深めていただくためのテキストとして、「PTA活動のためのハンドブック」を作成しております。また、このハンドブックの基本的な事項をまとめた概要版もあり、新しくPTAに入る方や役員となった方々を対象とした説明会や研修会等で、ご活用いただきやすいものになっております。どちらも県ホームページからダウンロードしていただけますので、目的に合わせてご利用ください。

かながわ PTA ハンドブック

## 神奈川県立(東部・西部)総合職業技術校からのお知らせ

# 「手に、職。」が未来を変える。

就職率  
**93.6%**



かなテクカレッジで「プロの技術」を学び、ものづくり現場(航空・自動車産業等)等で働くプロフェッショナル(正社員)を目指そう。



地域から、コースから、自分にあった「かなテク」を選べます。

神奈川県内にある東部総合職業技術校・西部総合職業技術校では、3分野(工業技術・建築技術・社会サービス)・全24コースで、仕事に必要な知識・技術を身に付けることができます。さらに、就職専門スタッフを配置して就職活動をサポートします。

### 3分野・全24コース

工業技術	精密加工エンジニア、電気溶接・板金、機械CADなど
建築技術	住環境リノベーション、造園木材加工など
社会サービス	ケアワーカー、給食調理介護調理

### 令和4年4月生の募集

募集の種類	申込期間
若年者等(優先枠)	R3.9.27～10.25
I期	R3.11.19～12.3
II期	R4.1.11～2.7

スタッフによる職業相談や職業紹介できめ細かく就職をサポート。

**体験入校** 予約必要 無料  
希望コースを2時間で体験

**オープンキャンパス** 予約必要 無料  
校内見学と個別相談

**バーチャルオープンキャンパス**  
VR動画でチェック!

かなテクカレッジ東部  
(東部総合職業技術校)  
TEL 045-504-2810  
横浜市鶴見区寛政町 28-2

かなテク 東部

かなテクカレッジ西部  
(西部総合職業技術校)  
TEL 0463-80-3002  
秦野市桜町 2-1-3

かなテク 西部



一般財団法人 神奈川県立高等学校 安全振興会

安全振興会の三大事業

本会は神奈川県教育委員会の指導の下、神奈川県立高等学校PTA連合会(以下高P連・神奈川県立学校長会(以下校長会)と連携しながら次の事業を展開しています。

- ①見舞金の給付
②学校安全の普及充実
③修学奨励金の給付

※本会の事業はすべて収益事業ではなく、特に見舞金給付及び学校安全普及充実事業は「PTA・青少年教育団体等共済法」に基づく共済事業です。

①見舞金給付について

死亡・障害・負傷等見舞金は、独立行政法人日本スポーツ振興センター(以下、スポーツ振興センター)の災害の認定に準じ、次のように給付します。

- 死亡見舞金・スポーツ振興センターの給付額の5割
■障害見舞金・スポーツ振興センターの給付額の5割
■負傷等見舞金・同一の事由による災害に対するスポーツ振興センターの医療費給付額が15,000円以上のとき、スポーツ振興センターの給付額の5割(平成31年4月1日以降の災害については、医療機関での窓口負担無しの場合、スポーツ振興センター給付額の4倍額を給付額とみなします)

31年4月1日以降の災害については、医療機関での窓口負担無しの場合、スポーツ振興センター給付額の4倍額を給付額とみなします。
※平成31年3月31日以前に発生した災害については、死亡見舞金・障害見舞金はスポーツ振興センターの給付額の7割、負傷等見舞金は6割

◆義歯見舞金・学校管理下の災害による負傷で、歯科補綴を受けた場合、障害見舞金の対象とならない2本以下の治療について1本あたり50,000円

◆供花料・学校管理下か否かを問わず生徒が死亡した場合100,000円

②学校安全の普及充実について

安全推進月間の指定と、生徒の安全意識の高揚を目的とした作文コンクール・ポスターコンクールの実施

補助事業・次の事業に補助金を交付。高P連の交通安全運動等健全育成事業、同安全啓発事業、校長会の交通安全教育事業、高等学校文化連盟・高等学校体育連盟の安全対策事業、定時制通信制高校教頭会の安全健康の在り方の研究

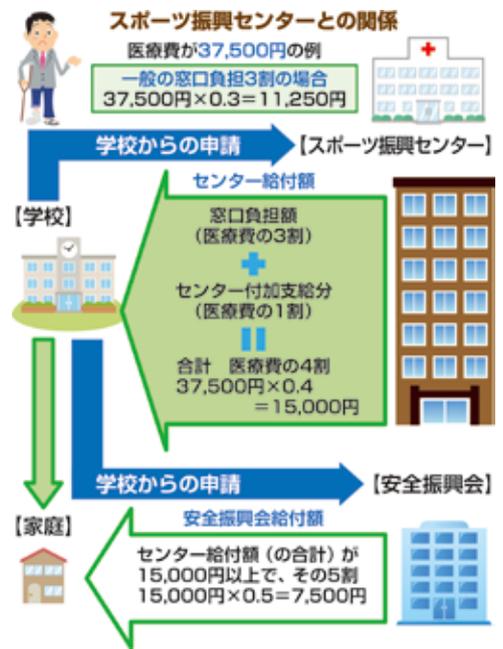
令和2年各校に熱中症アラームを寄贈

◆広報事業・『安全振興会報』『安全振興会のご案内』を発行

③修学奨励金給付について

修学奨励生の資格は次の(1)または(2)に該当する者です。
(1)生活保護・進生活保護・児童福祉施設入所等のいずれか
(2)その他特別の事情で学資の支弁が困難な者

加盟する全校・全課程毎に各1名採用し、年額72,000円を2回に分けて給付します。



令和3年度会費額の変更なし

令和3年度の年額は次のとおりです。

Table with columns: 会費額, 会費内訳 (純掛金, 付加共済掛金, 一般会費), 会費合計. Rows include 高等学校(※)全, 定, 通, 中等教育学校.

(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む

安全・健康 生徒の提言

作文コンクール

応募数366点(17校)で、入賞作品は次のとおりです。

最優秀賞2点は『安全振興会のご案内』(令和3年度版)に掲載しました。会報第77号(令和3年9月発行予定)に

も選考委員の講評とともに掲載します。また、令和2年12月5日の神奈川県立高等学校PTA連合会大会で本人による朗読が行われました。

- 最優秀賞(2名)
谷口柚羽(二俣川看護福祉)
コミュニケーションを大切にできる看護師を目指して古藤杏奈(小田原)
「自分らしく」と言われて優秀賞(6名)
小俣水美(二俣川看護福祉)、金野紗奈(新城)、我妻舞(茅)

ポスターコンクール

応募数は89点(10校)で、入賞作品は次のとおりです。最優秀賞の2点を原画として「安全推進月間」作文募集のポスターを作成しました。

- 最優秀賞(2名)
「安全推進月間」
岩淵威秀(横浜準人)
「作文募集」
川上夏生(白山)
優秀賞(9名)
青山美結、石田夏果、小林結衣、志賀桜月子(以上、白山)、川村琴(平塚湘風)、岸咲羽(横須賀総合)、吉田百音、市川千尋、樋口佳凜(以上、横浜準人)

ケ崎、厚海沙那、藤野着大(以上、綾瀬)、大野真(高津養護)
佳作(20名)
今井葉音、小原千空、近藤航、堀池美穂(以上、新城)、武上愛麗、玉田龍二、朝長雅斗(以上、麻生総合)、池田聖愛、柿島七美、二瓶葉月、比田勝萌、山口愛奈、山本莉子、渡辺愛真(以上、萱)、新井涼、北川真由美、森田葵(以上、綾瀬)、倉谷桃夏、村松萌希、山本羽菜(以上、麻溝台)

- 石川龍征、築城温太、山川莉央(以上、白山)、横山由莉、齋藤智恵美、安室朋華、森田藍沙、鶴田綾子、本橋未来(以上、横浜準人)



川上夏生さん(白山)



岩淵威秀さん(横浜準人)

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
横浜市中央区山下町1番地シルクセンター326号室
電話045-274-8180/FAX045-274-8190
URL http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp